

コベルコ建機株式会社

【8トン級ハイブリッド油圧ショベル「SK80H」の商品化】

功績

我が国の温室効果ガス排出量の約 1% が建設機械の燃料消費によるもので、そのうち油圧ショベルが約 60% を占めるとされています。その削減対策の手段として注目されているのが、建設機械の省エネルギーを目的とするハイブリッドシステムの開発です。コベルコ建機では 1999 年技術総合開発機構 (NEDO) と神戸製鋼所と共同で研究を進め、2006 年に世界初のハイブリッドシステムを採用した油圧ショベルを発表。以後商品開発を進め、本製品の商品化に成功しました。本製品は従来と比べ 40% の燃費低減を実現しています。本製品の販売は 2010 年 3 月より開始され、国土交通省の「低炭素型建設機械」の初号機として認定登録されました。また油圧ショベルは国内で年間 1 万台以上、全世界では約 20 万台が生産・販売されており、この開発と商品化で得られた成果は大半の油圧ショベルに展開可能であり、ハイブリッド油圧ショベルが普及すれば CO₂ の大幅な低減が期待できます。